

内科専門医研修プログラム (浜松労災病院)

1 はじめに

当院のプログラムは特に呼吸器内科専門医を目指す人に向いています。

また、個人の希望をベースに合わせた柔軟なカリキュラムを選択することができます。



プログラム統括責任者 浜松労災病院 呼吸器内科部長 豊島 幹生

2 目的

本プログラムは、静岡県西部医療圏の中心的な急性期病院である独)労働者健康安全機構(平成28年4月より労働者健康福祉機構から故障変更)浜松労災病院(以下、浜松労災病院)を基幹施設、同じ医療圏にある浜松医科大学附属病院(以下浜松医科大学)、浜松赤十字病院を連携施設、そして全人的医療・在宅医療などの研修のために、従来より浜松労災病院の初期臨床研修プログラムに参加している坂の上ファミリークリニック及び坂の上在宅医療支援医院を特別連携施設として構成されるものです。このプログラムを通じて基礎的臨床能力及び地域の実情に合わせた実践的医療の遂行能力が修得されます。修得後は必要に応じた可塑性のある内科専門医として静岡県全域を支える内科専門医の育成を行います。

初期臨床研修を修了した内科専攻医は、本プログラム専門研修施設群での3年間(基幹施設2年間+連携・特別連携施設1年間)に、豊富な臨床経験を持つ指導医の適切な指導の下で、内科専門医制度研修カリキュラムに定められた内科領域全般にわたる研修を通じて、標準的かつ全人的な内科的医療の実践に必要な知識と技能とを修得します。内科領域全般の診療能力とは、臓器別の内科系 Subspecialty 分野の専門医にも共通して求められる基礎的な診療能力であります。これには知識や技能に偏らずに、患者に人間性をもって接すると同時に、医師としてのプロフェッショナリズムとリサーチマインドの素養も含まれます。本研修プログラムでは診療経験を単に記録するのではなく、病歴要約として、科学的根拠や自己省察を含めて記載し、複数の指導医による指導を受けることによってリサーチマインドを備えつつも全人的医療を実践する能力を涵養することを可能とします。

3 研修病院群

(1) 専門研修基幹施設

浜松労災病院

(2) 専門研修連携施設

浜松医科大学医学部附属病院、浜松赤十字病院、坂の上ファミリークリニック及び坂の上在宅医療支援医院

4 専攻医受入数

3名

5 研修期間

3年間

6 研修計画(例)

○専門研修(専攻医)1年:基幹施設で行う。

総合内科コース、Subspecialty 重点コースともに7診療科(内分泌と代謝を分けると8診療科)をほぼ均等に配分し研修します。なお、これらの診療科において「アレルギー」、「感染症」「救急」は研修可能であり、「血液」、「膠原病および類縁疾患」については連携施設である浜松医科大学で2年目に研修します。

○専門研修(専攻医)2年:連携病院、特別連携病院で行います。

総合内科コース;症例不足が予想される疾患群(血液疾患など)の研修を浜松医科大学で3ヶ月間行います。残りの期間は浜松赤十字病院で救急、コモンディジェーズなどに対する実地臨床の研修(3ヶ月)を行います。そして坂の上ファミリークリニック(3ヶ月)及び坂の上在宅医療支援医院(3ヶ月)で終末期医療、超高齢者医療、在宅診療などを研修します。

○専門研修(専攻医)3年:基幹病院で行います。

総合内科コース;希望に応じてある程度診療科を絞って研修することは可能です。

Subspecialty 重点コース;希望する単一診療科を3-9ヶ月間、研修します。2年目における大学での希望診療科と同種の診療科となりますが、同種の診療科での研修期間は12ヶ月を超えないようにします。残りの期間は他の診療科を希望に応じてローテートします。

7 問い合わせ先

浜松労災病院 総務課 佐村智憲

電話:053-462-1211(内線:3041)

Mail:soumuka@hamamatsuh.johas.go.jp